

## 東京家政学院大学 アセスメント・ポリシー

東京家政学院大学では、「建学の精神」及び「教育研究上の目的」を実現するため、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに、その方針を定めています。そして、大学のそれぞれの教育組織におけるディプロマ・ポリシーに対し、教育課程が有効に機能しているかどうかを検証し、教育改善に繋げる、アセスメント・ポリシーを策定しています。

### 【目的】

1. ディプロマ・ポリシーに定める「獲得すべき学修成果（知識・理解、思考・判断、関心・意欲・態度、技能・表現）」及びその他の教育成果等の達成状況を把握・測定する。
2. 把握・測定した結果をもとに、学生が何を学び、身に付けることができたのかを明確にし、教育改善に活用する。一方学生は、学修成果を把握することにより、自身の知識・実践・経験の強みと成長を実感し、その理解を社会生活に向けた第一歩へ繋げる。
3. 把握・測定した結果は、可視化及び公表等を通じ、本学の教育の質を保証し、社会に対する説明責任を果たしていく。

### 【方法】

恒常的な教育改善を図り、教育の質を保証する目的から、三つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）に基づき、機関レベル（大学全体）、教育課程レベル（学部・学科）、授業科目レベル（科目ごと）の3つのレベルで学修成果を検証する。

#### 1. 機関レベル（大学全体）

大学全体の学修成果を点検・評価し、評価結果は全学的な教育改革・改善、学生・学習支援の充実・改善等に活用する。

#### 2. 教育課程レベル（学部・学科）

学部・学科の教育課程全体を通じた学修成果を点検・評価し、評価結果は教育課程の充実・改善等に活用する。

#### 3. 授業科目レベル（科目ごと）

科目ごとの学修成果を点検・評価し、評価結果は授業科目の到達目標、授業計画の内容・方法等の充実・改善等に活用する。

	アドミッションポリシー (入学時)	カリキュラムポリシー (在学時)	ディプロマポリシー (卒業時・後)
機関レベル (大学全体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種入学試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績状況 (GPA、修得単位数等)</li> <li>学生異動 (退学・除籍・休学・復学) 状況</li> <li>授業評価アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学位取得状況</li> <li>修業年限期間内の卒業状況</li> <li>卒業時調査</li> <li>進路状況 (就職・進学)</li> <li>卒業後調査</li> </ul>
教育課程レベル (学部・学科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種入学試験</li> <li>入学前教育</li> <li>GPS-Academic</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績状況 (GPA、修得単位数等)</li> <li>学生異動 (退学・除籍・休学・復学) 状況</li> <li>授業評価アンケート</li> <li>免許資格の取得希望状況</li> <li>GPS-Academic</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位修得状況</li> <li>学位取得状況</li> <li>進路状況 (就職・進学)</li> <li>免許資格の取得状況</li> <li>学修行動比較調査</li> <li>学修行動卒業時調査</li> </ul>
授業科目レベル		<ul style="list-style-type: none"> <li>各科目の到達目標の達成状況</li> <li>成績評価 (合否状況・平均点)</li> <li>出欠状況</li> <li>授業評価アンケート</li> </ul>	